

その他関連文書

一般社団法人 日本技術者教育認定機構
(JABEE)

<https://jabee.org>

認定・審査の手順と方法 改定の内容

改定の主要な内容

- 適合の度合いに関する判定の段階の変更（「認定基準の解説」参照）
 - 変更前：適合(A)、懸念(C)、弱点(W)、欠陥(D)
 - 変更後：満足(S)、弱点(W)、欠陥(D)

[C]含む
- 中間審査の審査項目の指定方法変更
 - ・ 前回審査で「W」とされた項目のみ
- 審査体制（名称及び考え方）の変更
 - ・ 審査の手順、方法等は変更なし
 - ・ 「審査団」の概念を標準とし、単一プログラムの審査にも拡張
- プログラム点検書／審査報告書の名称統一
- 「認定・審査の手順と方法」の文書を一本化
 - ・ 「一斉審査方式」と「個別審査方式」の区別を撤廃

- 中間審査の審査項目は、前回審査でW（弱点）と判定された項目のみとする（従来の[C]に相当する項目は設けない）。
- 前回審査が2018年度以前に実施された場合（ACWDのルールで判定された場合）は、2019年度以降の中間審査であっても前回審査でW及び[C]と判定された項目を審査項目とする。

審査員、オブザーバーの名称変更及び統一

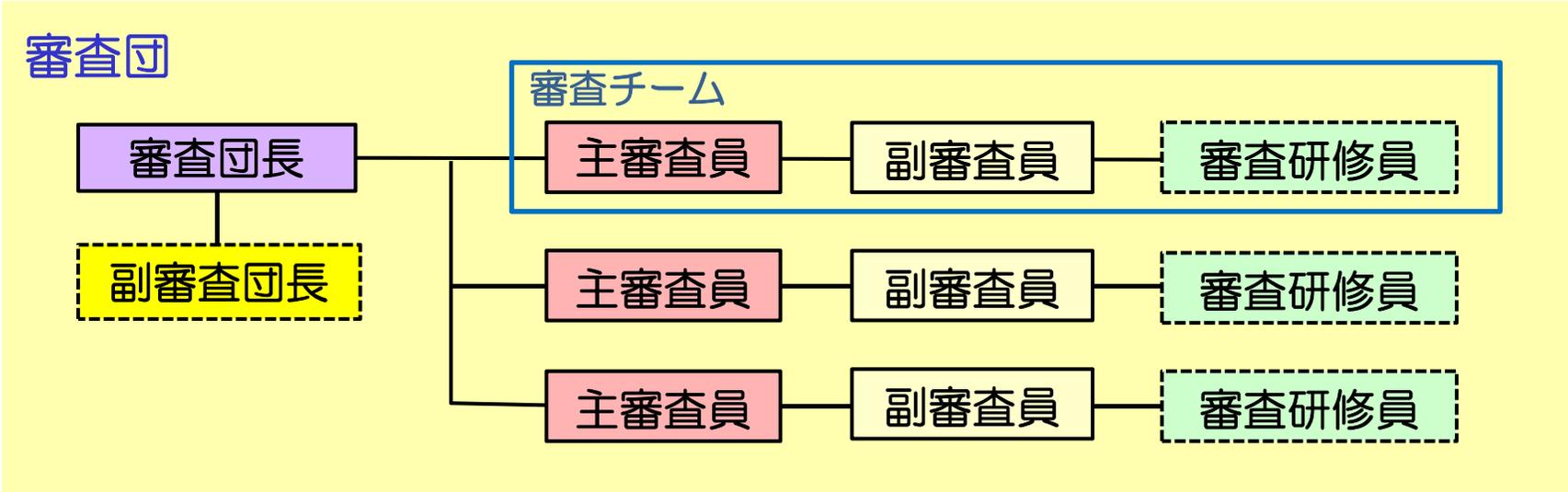
- 審査員、オブザーバーの名称を以下のように変更する
- 一斉審査／個別審査という呼称を廃止する
- 審査の手順、方法、審査員の役割等は大きな変更なし

旧名称		新名称	備考
個別 審査	審査長 審査員	<u>主審査員</u> <u>副審査員</u>	名称を統一
一斉 審査	主審査員 副審査員		
	オブザーバー(研修者)	<u>審査研修員</u>	
	オブザーバー(視察者)	<u>オブザーバー</u>	

審査団の構成 (1/3)

審査団の標準構成

□ は必要に応じて審査団に加える



- 審査団長が取りまとめる「審査団」を単位として対象となる1又は複数のプログラムの審査を行う
- 1つの「審査チーム」は当該分野の1プログラムを審査する
- 「審査団」は単一又は複数の審査チームから成る
- 主審査員（副審査員）の1名が審査団長（副審査団長）を兼ねることができる

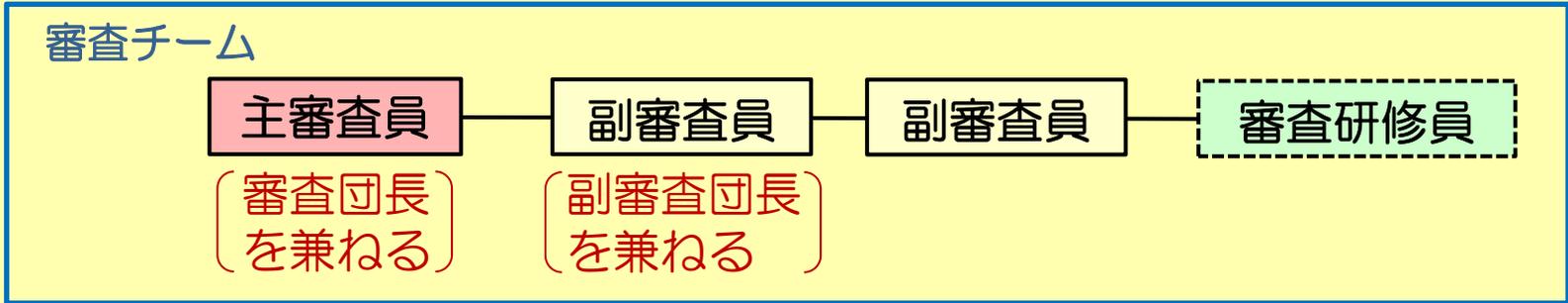
審査団の構成 (2/3)



単一のプログラムのみを審査する場合の審査団の構成

 は必要に応じて審査団に加える

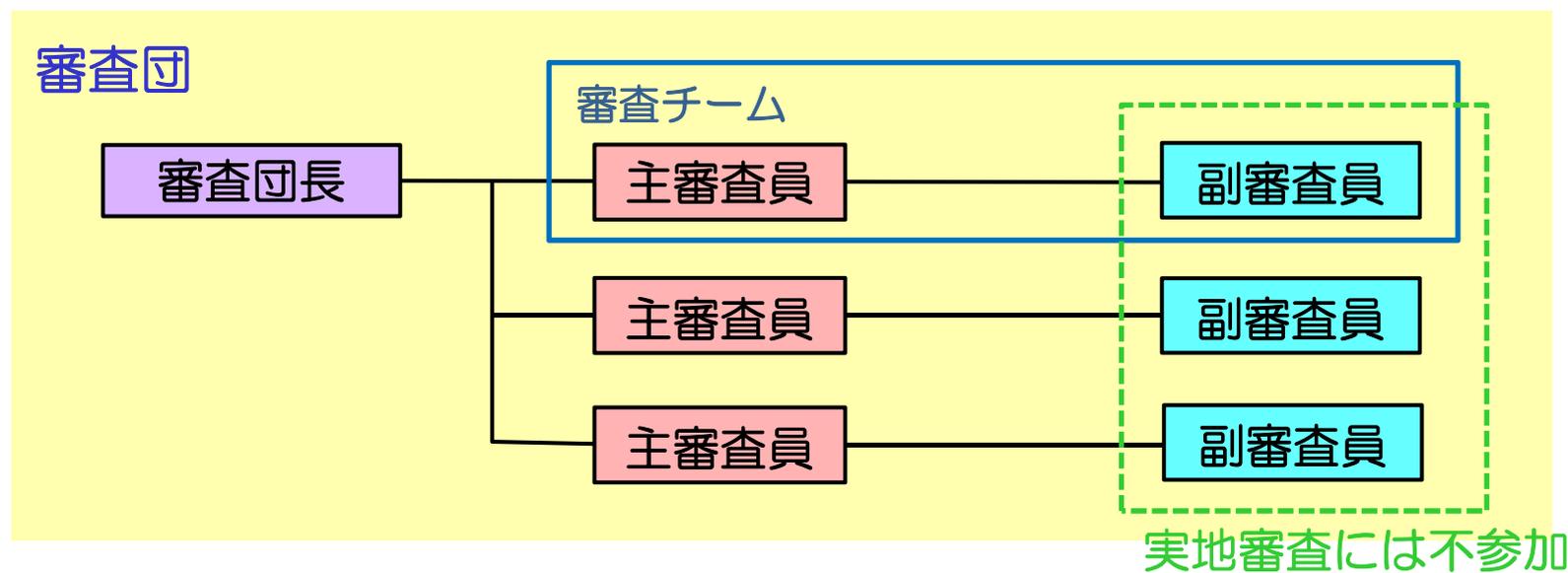
審査団



- 副審査員は、新規審査／認定継続審査の場合は原則2名、中間審査の場合は原則1名とする
- 主審査員が審査団長を、副審査員のうちの1名が副審査団長を兼ねる

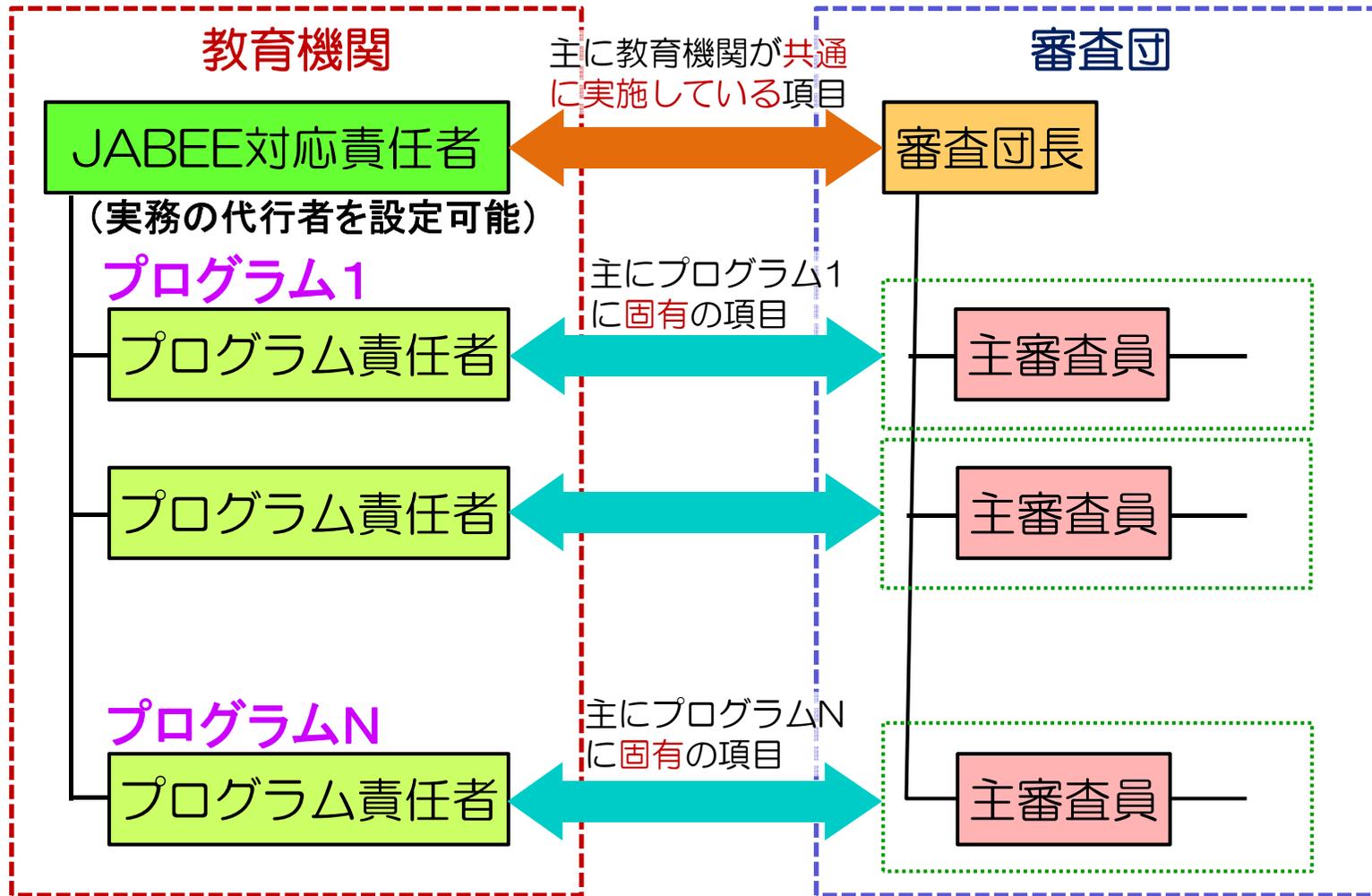
審査団の構成 (3/3)

高専の複数プログラムを審査する場合の審査団の構成

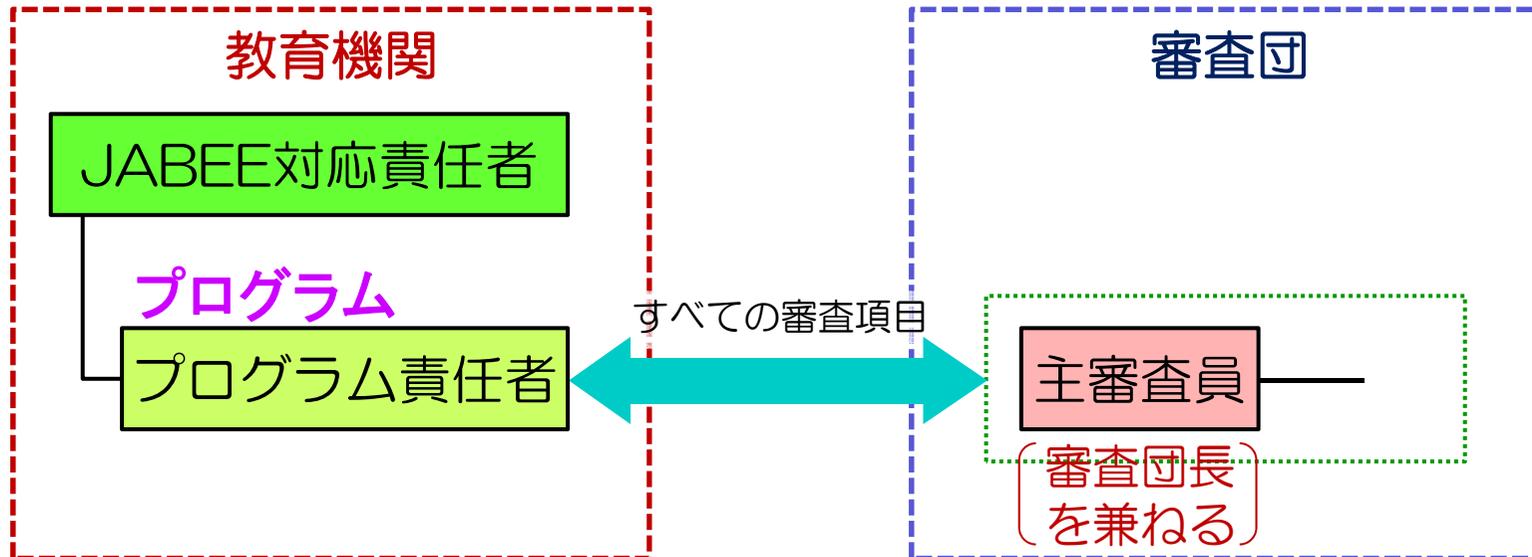


- 原則的に副審査員は実地審査には参加しない
- 原則的に副審査団長は追加しない
- 原則的に審査研修員は追加しない

■ 1つの審査団で複数のプログラムを審査する場合



■ 1つのプログラムを審査する場合



プログラム点検書／審査報告書

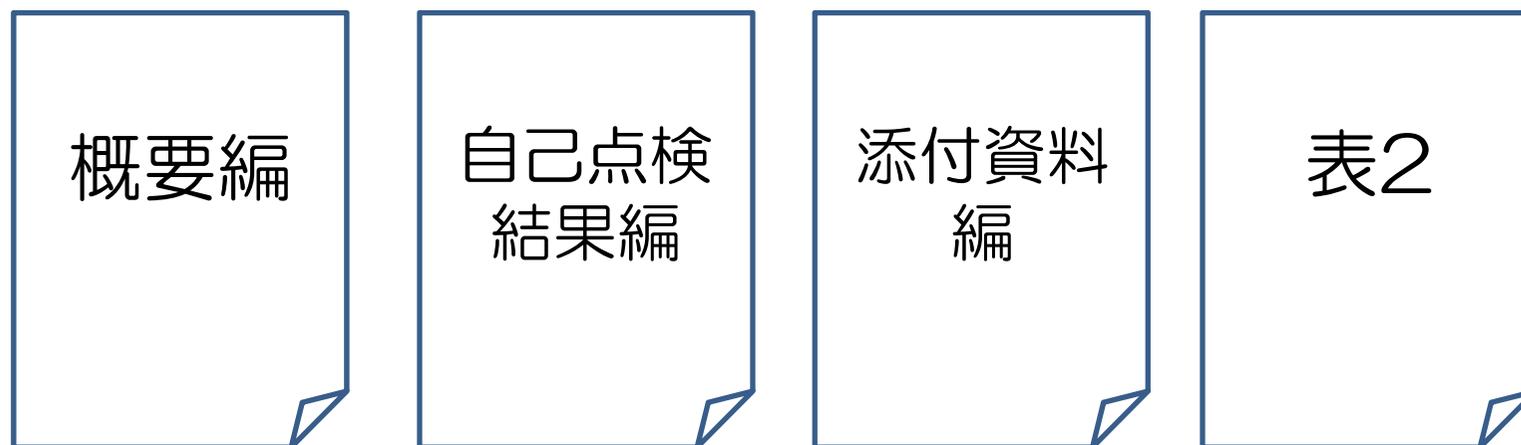


- 従来、個別審査用と一斉審査用で異なっていたプログラム点検書と審査報告書の名称を統一

旧名称		新名称	備考
個別 審査	一次審査報告書 二次審査報告書	<u>プログラム点検書</u> (<u>実地審査後</u>)	名称を統一
一斉 審査	プログラム点検書 (<u>実地審査後</u>) 審査チーム報告書	<u>審査チーム報告書</u>	

自己点検書 改定の内容

- 大きな変更なし
- 自己点検結果編の原稿様式をMS-ExcelファイルからMS-Wordファイルに変更



原稿様式	Word	<u>Word</u>	Word他	Excel
提出	PDF	PDF	PDF	Excel

- 大きな変更はない
- 審査及び自己点検書作成の効率を向上させるために留意していただきたいこと等を追加
 - 認証評価等の他組織による評価のために作成した資料の積極的活用をお願い
 - 自己点検書のPDF作成時の「しおり」、「テキスト上検索」等の機能の盛り込みをお願い
 - 通しページ番号の付与をお願い
 - Program Titleの意味の説明を追加

- プログラム概要、最近の教育改善活動の状況
 - 教育機関のWebページ等での説明を利用できる場合は、そのURLを記載するだけでよく、内容を転記する必要はない。

- 点検項目の細分化は行っていない。1つの点検項目に1つの記入欄としている。
- 1つの欄の記入文字数が増加すると見込まれるため、Wordファイル様式とした。文字数の制限はなくなるが、できるだけ簡潔な記述をお願いしたい。
- 「自己判定結果」欄に記入する記号の意味の変更
 - ◎：認定基準の要求事項を高い水準で満たしている。
 - ：認定基準の要求事項を満たしており、適合の度合いを高めるための取り組みを行っている。
 - △：認定基準の要求事項を満たしているが、改善の余地がある。

- 「基準への適合状況の説明」欄には、進行中の改善の取り組みがあれば、それも含めて記入する。
- 同一教育機関の複数プログラムを1つの審査団で審査する場合、各プログラム共通に実施している部分とプログラム固有に実施している部分を区別（色分け）する。（従来の一斉審査に相当）
- 審査団が単一プログラムのみでの審査を行う場合は、上記の区別は不要。（従来 of 個別審査に相当）

- 表1、表2：(a)～(i)を「知識・能力観点」と明記
- 表5：当該添付資料の参照すべき箇所を通しページ番号を記入する欄を追加

- 認定基準の解説にある「自己点検書に盛り込むことが期待される内容」を含めて作成してください。
- 現在進行中の改善の内容、見込まれる効果により、基準項目への適合性がどう改善されるのかを説明してください。

その他関連文書

終